

# 日本商業学会 第8回全国研究報告会プログラム

## 統一論題: 変貌する流通

関西部会代表理事： 岸谷和広

プログラム委員： 南知恵子、石淵順也、菅野佐織、岸本徹也、金昌柱

- 開催日時：2018年12月8日(土)・9日(日)
- 会場 駒澤大学駒沢キャンパス(東京都世田谷区駒沢1丁目23-1)
  - アクセスマップ <https://www.komazawa-u.ac.jp/facilities/campus/komazawa.html>
- 参加費 研究会 3000円 (大学院生 1000円)  
懇親会 4000円 (大学院生 2000円) 会場：深沢キャンパス洋館  
アクセスマップ <https://www.komazawa-u.ac.jp/facilities/campus/fukasawa.html>
- 参加申込:次の参加申込フォームにアクセスし、ご所属・お名前・メールアドレスを明記の上、研究会、懇親会の有無を11月30日までにお知らせください。大学院生の方はご所属に大学院生と明記してください。
  - 申込フォーム： <https://goo.gl/forms/R7SizbxJwsbxldw32> 多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

---

日本商業学会 第8回全国研究報告会プログラム  
2018年12月8日(土) -1日目(駒澤大学駒沢キャンパス3号館(種月館)212教室)

---

12:50-13:00 開会の挨拶：日本商業学会副会長 南知恵子(神戸大学)

基調報告：変貌する流通 司会 岸谷和広(関西大学)

13:05-13:45 川端基夫(関西学院大学)  
フランチャイズ研究の新たな視角：法人加盟の実態と研究上の意義

13:50-14:30 畢 滔滔(立正大学)  
社会運動が米国の有機農産物流通の発展に及ぼした影響：バック・ツー・ザ・ランド・ムーブメントを中心に

14:40-16:40 特別セッション(パネルディスカッション)：テーマ「変貌する流通と未来」総合司会 近藤公彦(小樽商科大学)

パネラー  
和田充夫(慶応義塾大学名誉教授) -2025百貨店企業の未来  
小川進(神戸大学) -マーケティング・流通を研究するを考える  
三村優美子(青山学院大学) -流通の編集力と場所の力の再検討～食農連携からの示唆～

17:00-19:00 懇親会(会場：深沢キャンパス洋館)

---

---

日本商業学会 第8回全国研究報告会プログラム  
2018年12月9日(日) -2日目(駒澤大学駒沢キャンパス3号館(種月館))

消費者と流通(302教室)  
司会 石淵順也(関西学院大学)、金昌柱(立命館大学)

現代の商業(303教室)  
司会 岸本徹也(流通科学大学)

---

9:00-9:50

神谷 渉(玉川大学)  
食品表示法が日本のプライベート・ブランド(PB)に与える影響  
-製造所表記に着目して-

岡野純司(愛知学院大学)  
百貨店が利用する委託仕入に関する定義および取引実態の検討

---

9:50-10:40

佐藤平国(東北大学大学院)  
マーケティングにおける機械学習の方法の応用と解釈性課題  
-部分的に解釈が容易な多層ニューラルネットワークモデルの検討-

木暮衣里(神戸学院大学)  
地域社会への貢献と流通

---

10:50-11:40

金雲鎬(日本大学)  
Omni-channel, challenges, and hidden cost

角谷嘉則(桃山学院大学)  
BIDによるエリアマネジメントの効果  
-イギリス・シェフィールド市を事例として-

---

11:40-12:30

陳 森(東海大学大学院)  
オンライン購買における財と情報の分類に基づく中国消費者の類型化  
-数量化3類を用いた財と情報の類似度を解明へ-

---